

## 「胃がんリスク層別化検査」 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、「胃がんリスク層別化検査」に於いて、本年4月より認定NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構推奨のラテックス凝集比濁法（LA）によるヘリコバクター・ピロリ抗体を用いた胃がんリスク層別化検査の受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

---

- 胃がんリスク層別化検査（D分類・LA）
- 胃がんリスク検査/E群（D分類・LA）

### 受託開始日

---

- 2020年4月1日（水）

## 胃がんリスク層別化検査

胃がんリスク層別化検査は、平成 28 年に「胃がんリスク層別化検査運用研究会」から出された運用基準に基づき、翌年から旧 ABC 分類を胃がんリスク層別化検査に検査内容を変更致しました。今般、認定 NPO 法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構から、ヘリコバクター・ピロリ抗体の検査試薬について、現在使用している EIA 法試薬とは別にラテックス(LA)法試薬を推奨する発表がなされました。

LA 法では、現行の EIA 法と比べ未除菌の委縮性胃腸炎症例に於ける抗体偽陰性率が有意に低くなり、胃がんリスク診断の偽 A 群判定率が低減します。また、感度および検体処理能力が向上し、所要日数が短縮されます。

	内容	備考
検査方法	ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC《LA》 LA(ラテックス凝集比濁法) 判定基準(陰性): 4U/mL 未満 ※ペプシノゲンの検査試薬は変更なし	「胃がんリスク層別化検査」専用検査です。 (測定試薬:L タイプワコー H.ピロリ抗体・J/富士フィルム和光純薬株式会社)
所要日数	2~3 日	EIA 法は 2~6 日
報告書	専用報告書(LA 法専用)	

## ご依頼方法

ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC《LA》を用いた「胃がんリスク層別化検査」を依頼書でご依頼の際は胃がんリスク層別化検査(D分類・LA)とご記入下さい。

伝送でご依頼の際は、下表(セット項目)の3項目をご依頼下さい。

セット名称	セット項目
胃がんリスク層別化検査(D分類・LA)	[2477] 胃がんリスク層別化検査(D分類・LA)
	[2476] ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC《LA》
	[2118] ペプシノゲン:ラテックス

## ピロリ菌の除菌治療後のご依頼方法

ピロリ菌の除菌治療を受けた方は、胃がんリスク層別化検査判定対象外となるため、ヘリコバクター・ピロリ抗体とペプシノゲンの測定値をご報告し、A、B、C、D判定は行わず、E(Eradication)群としてご報告致します。

ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC《LA》を用いた胃がんリスク検査をご依頼の際は、依頼書に胃がんリスク検査/E群(D分類・LA)とご記入下さい。

伝送でご依頼の際は、下表(セット項目)の3項目をご依頼下さい。

セット名称	セット項目
胃がんリスク検査/E群(D分類・LA)	[2478] 胃がんリスク検査/E群(D分類・LA)
	[2476] ヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC《LA》
	[2118] ペプシノゲン:ラテックス

## 留意事項

- ※ EIA 法によるヘリコバクター・ピロリ抗体/ABC(EIA)を用いた胃がんリスク層別化検査は継続して受託いたします。
- ※ ヘリコバクター・ピロリ感染の保険適用としてご依頼される場合は、臨床用の[1337]ヘリコバクター・ピロリ抗体《LA》(測定試薬:LZテスト栄研 H.ピロリ抗体/栄研化学株式会社)をご利用ください。